

## 給食食材の放射性物質測定の結果（平成25年8月分）

○検出された場合には、その測定値を表示しています。

○「<○」と表示しているのは、検出下限値（検出できる最小の値）未満であることを表しています。

○検出下限値は、セシウム134、セシウム137それぞれ10Bq/kgになります。

（単位：Bq/kg）

測定日	施設名	検査品目	産地	給食食材の測定結果		備考
				セシウム134	セシウム137	
平成25年 8月1日 (木)	同仁美登里保育園	鶏もも肉	鳥取県	<10	<10	
		カレー	アラスカ	<10	<10	
		すいか	茨城県	<10	<10	
8月7日 (水)	久堅保育園	ズッキーニ	群馬県	<10	<10	
		メロン	山形県	<10	<10	
		鶏卵	青森県	<10	<10	
8月8日 (木)	向丘保育園	じゃがいも	茨城県	<10	<10	
		すいか	神奈川県	<10	<10	
		乾燥ひじき	長崎県・韓国	<10	<10	
8月14日 (水)	しおみ保育園	きゅうり	青森県	<10	<10	
		にんじん	北海道	<10	<10	
		干しいたけ	静岡県	<10	16.7	※

※基準値は超えていませんが、干しいたけから、セシウム137が16.7Bq/kg検出されました。今回の摂取量は、1～2歳児は3.65g、3～5歳児は4.56gです。実効線量を計算すると、1～2歳児、3～5歳児ともに0.000731μSvとなります。この量を1日3食、年間摂取したと仮定した場合の食品による年間累積放射線量は、0.000731μSv×3食×365日=0.800445μSv≒0.0008mSvとなります。

この値は厚生労働省が示している年間許容線量1mSvと比較して、極めて低い数値です。

[給食の放射性物質の測定（平成23年度）](#)の専門家コメントも参考にご覧ください。（区のホームページへリンクします）

測定日	施設名	検査品目	産地	給食食材の測定結果		備考
				セシウム 134	セシウム 137	
8月21日 (水)	白山ひかり保育園	オクラ	福岡県	<10	<10	
		にんじん	千葉県	<10	<10	
		片栗粉	北海道	<10	<10	
8月22日 (木)	駒込保育園	キャベツ	群馬県	<10	<10	
		たまねぎ	兵庫県	<10	<10	
		米	石川県・福井県	<10	<10	
8月28日 (水)	小学館アカデミー 茗荷谷保育園	鶏肉	青森県	<10	<10	
		キャベツ	群馬県	<10	<10	
		たまねぎ	兵庫県	<10	<10	
8月29日 (木)	こひなた保育園	かぼちゃ	北海道	<10	<10	
		とうもろこし	北海道	<10	<10	
		煮干し	千葉県	<10	<10	